

# 『アラーム設定一覧表』使用マニュアル

## 1. 目的

生体監視モニターは、心電図の波形や脈拍数など数値を監視し、異常時にはアラームで知らせる装置である。しかし、アラーム設定が不適切であると誤アラームが発生しやすくなることで、本当に必要なアラームに気づかない状況につながる。そこで、『アラーム設定一覧表』を活用し、情報共有および適切な生体監視モニターの使用、アラーム音に対して迅速に対応する。

## 2. 設置場所

生体監視モニター付近に設置する。

## 3. アラーム確認・記入方法

- 1) モニター番号欄には、使用している生体監視モニター番号を記入する。
- 2) 患者氏名欄には、患者氏名をフルネームで記載する。
- 3) HR・Bp・SpO<sub>2</sub>・EtCo<sub>2</sub>・NIBP欄には、医師の指示によるそれぞれの上限値、下限値を記入する。
- 4) 備考欄には、患者ごとに必要な申し送り事項があれば記入する。
- 5) サイン欄には、確認・記入した看護師がサインする（初回）。

## 4. 申し送り・サイン

- 1) 勤務交替時に『アラーム設定一覧表』をもとに、次の勤務者へ申し送りを  
する。
- 2) 各患者のHR・Bp・SpO<sub>2</sub>・EtCo<sub>2</sub>・NIBP欄それぞれの上限値、下限値を  
画面上設定されている数値と『アラーム設定一覧表』を照合する。
- 3) サイン欄に、申し送った看護師、申し受けた看護師がそれぞれサインをする。

